



交通安全だより

2022年2月1日
恵庭自動車学校

暴風雪など悪天候時の事故防止について

暴風雪に伴う猛吹雪や吹きだまりにより車が立ち往生

その結果…

排気ガスによる一酸化炭素中毒や
寒さによる死傷事故の発生

**悪天候時は
車の使用を控える等の
判断も必要!!**

やむを得ず車で外出するときは…

- 事前に天気や道路状況を確認するとともに、運転中もラジオなどで最新の情報を把握する。
- 吹雪等で車が立ち往生した場合に備え、防寒具、長靴、手袋、スコップ、牽引ロープ等を用意し、十分な燃料があることを確認する。
- 運転中に危険を感じたら無理をせず、最寄りの道の駅やコンビニエンスストア等で天候の回復を待つ。



もしも吹雪等で車が動けなくなったときは…

- 道路緊急ダイヤル（#9910番）やJAF等のロードサービス、緊急の場合は消防（119番）、警察（110番）に連絡をする。
- ハザードランプの点灯、停止表示板の設置、発煙筒の活用等により後続車に停止していることが分かるよう合図をする。
- 車のマフラーが雪に埋まって排気ガスが車内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす恐れがあるので、マフラーが雪に埋まらないよう除雪をする。

